

「作業療法士による退院支援に対する看護師の認識調査」 について

加古川中央市民病院リハビリテーション部では、現在、表題の研究を実施しております。この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究概要及び利用目的]

当院では、NICU/GCUから医療的ケア児が在宅へ移行する際、作業療法士が在宅支援の役割を担っています。今後、多職種協同による退院支援を円滑に進めるために、作業療法士による退院支援に対するNICU/GCU看護師の認識や期待を把握し、実践とのギャップを明らかにしていくことが重要と考えます。

今回、NICU/GCU病棟看護師にアンケート調査を実施し、作業療法士の在宅支援に対する認識を明らかにすることで、作業療法士介入の可視化や多職種間の共通理解を深め、多職種による退院支援体制の質を向上させたいと思っています。

[研究期間]

この研究は、病院長承認日～西暦2027年10月31日まで行う予定です。

[取り扱うデータおよび試料・情報の項目]

2026年3月20日～3月31日までの期間に加古川中央市民病院NICU/GCUに勤務する看護師を対象に下記内容のアンケート調査を実施する。

アンケート内容：

- 1.退院支援にOTが関わることの認知度
- 2.OTが退院支援に関わることによる家族の不安は軽減の実感度
- 3.OTが関わって良かった点（選択形式）
- 4.退院支援におけるOTの必要度
- 5.OT介入時期
- 6.OTに期待する支援（選択形式）
- 7.退院支援においてOTと協働して良かった点、今後期待すること（自由記載）

[個人情報保護の方法]

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象患者識別番号リストを作成して、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

[試料・情報等の保存・管理責任者]

加古川中央市民病院 リハビリテーション部 責任者氏名：井澤 ありさ

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意取りやめの申し出された時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション部
研究責任者名 井澤 ありさ
連絡先：079-451-5500